

東洋英和女学院大学大学院 人間科学研究科人間科学専攻 第3回合同特別講演会

当大学院人間科学研究科は、社会人・大学新卒者を対象とし、男女共学の夜間大学院として、1993年に設立され、多くの修了生を世に送り出して参りました。近年、わが国の社会・経済における価値の多様化・少子高齢化・国際化の急速な進展に伴ない、複雑化した社会（学校・家庭・職場など）の中で「子育てのむずかしさ」を感じるようになって参りました。

そこで今回は、臨床心理の第一線で活躍中の光元和憲先生をお招きし、「ジブリからの母と子への贈物」というタイトルでご講演をお願いいたしました。光元和憲先生は長年の臨床経験から近年独自の理論を展開されており、子どもから大人まで幅広い臨床経験をお持ちです。森田健作千葉県知事のラジオ番組にも出演されており、大変わかりやすいお話をして下さいます。宮崎駿作品を通して親子の心の深淵を語ってくださると思います。どうぞご期待ください。

期 日： 2017年5月27日（土） 15：30～17：30

会 場： 東洋英和女学院大学大学院 2階201教室
（〒106-8507 東京都港区六本木5-14-40）

講演テーマ： 「ジブリからの母と子への贈物」

講 師： 光元 和憲 先生（ちば心理教育研究所 所長）
（主な著書：「母と子への贈物」「内省心理療法入門」
「家族に学ぶ家族療法」「体験箱庭療法ⅠⅡ」）

講師からのコメント：

デビュー作『風の谷のナウシカ』を皮切りに『となりのトトロ』以降、宮崎駿監督作品の主人公たちは全員、《母への甘え》を断念し、《せかさされたひとり立ち》にくりかえし挑戦します。そして『崖の上のポニョ』『風立ちぬ』に至って《母との和解》にたどり着きます。その背後には「母に見捨てられた」という宮崎監督自身の幼少期の体験が横たわっています。ジブリ作品を取り上げながら、このことを皆さまにお話しさせていただきます。

参加費： 無料

定 員： 100名

参加申し込み

氏名、連絡先（電話番号、携帯可）をご記入のうえ、下記のアドレスまでメールでお願い致します。
E-mail : daigakuin@toyoeiwa.ac.jp

申込締め切り

2017年5月20日（土）までにメールにてお申込みください。（先着順）

参加の可否

定員に達し次第、お申込みを締切らせて頂きます。